

今年度よろしくお願ひします。

時には流れがある、一年一年 時の会長が伝統を守り発展を心がけ努力してこられた。今 私にその役目が回ってきた。又 人には分がある。分相応に時がやれと告げていることを皆様のご協力の下やり遂げたいと思う。“豊中ロータリー50年の歩み”を大切にして、今年度のR I 会長レイ・クリンギンスミス氏のテーマは“地域を育み大陸をつなぐ”です。そして八つの実行目標をかかげておられます。

地区活動についての方針として、松本ガバナーは“ロータリークラブについて、原点に立ち戻って、もう一度考えてみませんか”をテーマとして七つの提案をされています。

これらを受け、私は“豊中ロータリーは永遠です”を合言葉に、こどもたちの未来を見据え、地域社会に根ざしたクラブ運営を心がけたいと思っています。

会員はロータリーにとって宝です。宝を磨き、宝を増やすことでクラブが生き生きとし、すばらしい力を発揮し楽しいクラブライフを送れると思います。一人一人がロータリーをもっと理解し地域に働きかけることで、すばらしい宝、よい多くの宝を発掘しようではありませんか。会員同士の絆は例会によって生まれ、事業を推進する中で深まると信じています。例会を楽しみ、卓話で心を込めた話を披露し、聞いて感動し、所属委員会での仕事を共にやり遂げようではありませんか。

奉仕活動については今まで培ってこられたことを継承し、新たな活動も各委員会で企画していただいております。研修・親睦・広報活動 出前課外授業 教育フォーラム マッチンググラント 留学生支援奨学金 公開フォーラム ホームページの充実等々、全員で取り組んで行きたいと思ひます。これらが、更なる発展の足がかりとなり、次にバトンを引き継げたらと思ひます。

特に皆様の意見を聞き会務に反映させるための協議会 情報集会の他 親睦を深める意味もこめて“トーク in さくら”を毎月第2水曜と第4木曜に6:00pmより開催します。とりあえず半年間の予定で研修委員会による勉強会、各委員会の打ち合わせにも利用していただき、また会員からのテーマ提供を受け、語り合う2時間にしたいと思ひます。

2010年の規定審議会の結果による細則の見直し、積立金合計の処理方法等も検討したいと考えております。

3名(畑田、古澤、米田各会員)に委員として出ている地区との連携、米山奨学・R財団に協力し国際社会への貢献をはたし、また補助金の活用も考えた活動を展開しなければと思ひます。

この紙面でお伝えできなかったことは、“会長の時間”の中で折に触れお話ししたいと思ひしておりますし、話の内容についてのご意見、ご討議は“トーク in さくら”で。

楽しい、実りある一年間になりますよう役員一同努力いたしますのでご協力よろしくお願ひいたします。

